

市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい=ひと休み)



市ホームページ「うらそえトピックス」
にも市内のできごとを紹介しています。



3/8 日頃の訓練を生かし、消火活動!

迅速な消火活動により被害の拡大を未然に防いだとして、その功績を称える表彰式が、浦添市消防本部で行われました。

昨年10月、浦添大公園入口の自動販売機から煙が出ているのを発見した明邦運送の比嘉栄三さんは、隣接する有限会社沖縄紙業の大仲秀樹さんに声をかけ、消火器を使って消火活動にあたりました。沖縄紙業では火災を想定した消火訓練を定期的に行っており、大仲さんは「日頃の訓練もあり、ほかの職員と声を掛け合って素早く行動できたと思う。まさか実際に火災現場に直面するとは思ってなかったが、公園で遊ぶ子どもたちのためにも、訓練の大切さを改めて感じた」と話しました。



2/28・29 パラオのアイライ州知事が視察

本市とパラオ共和国のアイライ州は、環境省からの事業として民間企業と協力しながら、脱炭素に向けた情報交換や施策の提言などを行っています。その一環で、パラオ共和国アイライ州のノーマン・ニラテオボエト知事が来沖し、浦添市を訪れました。

市役所で松本市長と挨拶を交わした後、港川中学校の太陽光発電設備やクリーンセンターでのごみ処理、沖縄電力の環境関連施設などを視察しました。他にも、美術館を訪れ、糸数館長の解説で漆器の常設展を見学し、琉球文化にも触れていただく機会となりました。ノーマン知事は「今後も両都市で連携し、課題解決に取り組みたい」と話しました。



2/21 親子で活用!子育て支援施設

市内のこども園などの子育て支援施設について知ってもらうためのイベント「ちびっこ全員集合!~Let's enjoy~」が浦添市立まちなと児童センターで開かれ、日頃から港川・牧港地域のこども園や児童センターを利用している親子と職員が参加しました。各園の紹介から始まり、先生を中心にリトミックやエイサー、手遊びなど、親子で楽しんでいました。参加した手登根さんは「市内の保育園を探している中、イベントに参加できて楽しかった。このような集いの場をもっと増やしてほしい」と感想を述べ、館長の宮平さんは「子育て支援施設はそれぞれに特色があるので、今日のイベントで各園について知ってもらい、ぜひ活用してほしい」と話しました。



3/12 まちプラ×浦添中学校 学びを市にプレゼン

浦添中学校の1年生が総合的な学習として、まちプラ交付団体のWAKIMIZUによるワークショップを受講し、その学びの成果を報告しました。

生徒らは、自分たちの住む地域における防災の取り組みについて学び、課題の解決に向けた構想を市にプレゼンテーションしました。松本市長は「今後もさまざまな地域に関心を持って、さまざまな立場の人の視点で考えることを続けてください」と話し、銘苅教育長からは「次はぜひ行動してみてください。アルファ米を食べてみたり、仮設トイレを実際に使用したりすることで皆さんの学びはさらに深まります」と、生徒らに学びのエールを送りました。



2/29 クワイエットアワーで気づくこと。

感覚の過敏性がある人にとって、商業施設等は音や光などの刺激が多く、訪問時にストレスを感じたり、ひどく疲れたりすることがあります。クワイエットアワーとは、そういった感覚過敏のある人に配慮し、一時的に音や光の刺激を緩和して営業をする取り組みのことです。

今回、沖縄県発達障がい者支援センターがじゅま〜が沖縄県自閉症協会とコープおきなわ牧港店協力のもと、県内で初めてクワイエットアワーの実証実験を行いました。感覚過敏がある人だけではなく、日頃店舗を利用するお客さまからも「ゆっくり買い物できた」「BGMがないと静かで、会話も楽しめた」と新たな気づきの場になりました。(写真は、通常営業時とクワイエットアワー時の店内)



2/21 人権啓発活動の充実に向けて

浦添市人権擁護委員が、日頃の活動を充実させるために、松本市長や銘苅教育長と意見交換を行いました。

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、人権について関心を持ってもらえるよう、小学生を対象にした人権教室や、人権週間に合わせた街頭啓発を行っています。

意見交換会では、市内の小中学校における人権啓発や、教育の重要性などが話され、活発な情報交換が行われました。

参加した棚原洋子委員は「とても有意義な時間でした。今後も行政と情報共有を行い、活動に繋げていきたいです」と今後の意気込みを語りました。



2/5・24 高校生が手がけるチョークアート

卒業シーズンの風物詩にもなっている「チョークアート」。技法を学び「表現」することの楽しさを感じてもらうことを目的に、沖縄県立芸術大学の学生を講師に招き「アートキャラバン出前講座 チョークアート教室」を開催しました。

浦添商業高校美術部の生徒が参加し、学校での講義で得た知識を生かして、市立中央公民館で実践し、素敵なチョークアートで玄関を飾りました。参加した生徒は「初めての体験だったけど、楽しかった」「黒板アートについて楽しく学べた」との感想があり、1年ぶりに描き変えられた公民館玄関の黒板は、今年度も利用者を元気に迎えてくれます。ぜひ見に来てください!